

令和2年度第2回広島市公民館運営審議会 会議要旨

日時	令和3年3月1日(月) 午前10時00分～11時30分		
場所	広島市役所 本庁舎14階 第7会議室		
公開・非公開の別	公開	傍聴人	0人
出席者	委員 : 新川恵美、福原剛、上谷信夫、神出恭子、高田登代子、田頭一徳、岩元佳子、大坪真理子、久井英輔、山川肖美 事務局 : 橋場市民局次長、手島生涯学習課長、平田課長補佐、高木主査、松本主事 地域起こし推進課公民館担当課長 (区調整公民館長) : 大嶋課長 (西区)、平野課長 (南区)、沖課長 (安佐北区)、富永課長 (佐伯区) (公財)広島市文化財団 : 岩田次長、(似島公民館)湯出原館長、大須賀社会教育主事		
資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度第2回広島市公民館運営審議会次第 ・ 資料1 広島市公民館の取組について (事例紹介) 「似島の魅力発信！未来へつなぐ豊かな自然と歴史・文化」 (似島公民館) ・ 資料2 コロナ禍における公民館活動及び運営について ・ 資料3 令和3年度生涯学習・社会教育関連予算案 ・ 参考資料1 広島市公民館学習会の実施方針 (体系) ・ 参考資料2 広島市似島公民館の優良公民館文部科学大臣表彰「優秀館」の受賞について ・ 参考資料3 令和2年度公民館利用者アンケートの結果 ・ 参考資料4 広島市公民館運営審議会関係法令等 (抜粋) ・ 参考資料5 広島市公民館運営審議会委員名簿 		

議事 (会議要旨)

1 開会

2 議事

(1) 委員長、副委員長の選任

委員長 山川 肖美 委員

副委員長 上谷 信夫 委員

(2) 広島市公民館の取組について

〈説明〉

参考資料2について説明 (手島生涯学習課長)

【事例発表】地域資源に関する学習などを通じた取組について

「似島の魅力発信！未来へつなぐ豊かな自然と歴史・文化」 (似島公民館)

パワーポイントを使って事例発表 (似島公民館 大須賀社会教育主事)

〈質疑等〉

久井委員

オンラインでの旅行やリモート公民館ライブについて、比較的早い時期から取組を始められたと聞いた。実際にオンラインで公民館事業を行う際に学んだことや課題について、考えがあればお聞かせいただきたい。

大須賀社会教育主事

広島市文化財団内にリモートの取組に関する研究会を立ち上げていたところ、ビデオ会議が簡単にできることがわかった。そこで、それなら来週の事業でやってみよう、と見切り発車的に始めた。

なぜそんなに見切り発車でできたかという、似島の参加者と公民館職員の間関係ができていることが大きいと思う。もし失敗したとしても、「しょうがないよ。」と笑ってくれる関係性、一人一人の顔がみえる普段からのお付き合いがあるので安心して取り組むことができたと考えている。また、オンライン旅行の受け入れ先の湯来西公民館職員のリモート力や温かい雰囲気似島の人と合うと思いトライした。画面越しだが、実際に交流した感があるようで、高齢者であってもリモート活動ができるんだと思った。

課題としては、一般的にも言われるが音声的な課題がある。マイクを使って相手に届けるので、喋っている人の声は拾うことができるが、マイクがない方、例えば講座に参加される高齢者全体の声を届けるのが難しかった。それ以外は、概ね思った以上の効果があり、今後も島の課題、例えばイノシシ等をテーマに取り上げて、高齢者の方も参加して会議するようなこともできるのではないかと未来の可能性を感じた。

久井委員

今のお話を聞いて、公民館事業をオンライン化、リモート化する際に、もともとの関係が出来上がっていると割とスムーズにできる、逆に言うと、新しい関係をなかなか築きにくいという問題があると感じた。これまで特に関係がなかったところを相手にリモート事業を行おうとすると、色々工夫が必要になるという話もあるので、大変興味深く聞かせていただいた。

大坪委員

人口減少を逆手に取った取組が素晴らしい。住民の方を巻き込んで企画運営していくところに公民館の力があると思った。また、公民館活動を幼少期に経験した子どもが、青年になったときに再び活動していくことに感動した。小さい子どもを連れた方は、なかなか動けないところはあると思うが、そういった層に公民館がうまく発信して、巻き込んで、繋げていくことが大事と思う。

また、コロナ禍の自粛中に人と会えず寂しい思いをしていたところ、ラインのテレビ電話を活用してみたら、顔が見えてものすごく嬉しかった。是非、公民館でも高齢者向けのオンライン講座などを行っていただき、高齢者でもオンライン活動ができることを発信してほしい。

岩元委員

発想が豊かで、それを行動にうつしたり物として作られているところが素晴らしいと思った。また、先ほどのコメントにもあったが、住民の皆さんとの心理的安全性のある関わりの中で実現された、思いがあるだけでも、発想があるだけでも成し遂げられなかったことだろうと感じた。

そして、絵本は是非うちの地域の小学校や公民館でも読み聞かせしたいが、どこで入手できるだろうか。また、読み聞かせの様子をYouTube ライブで流したらどうかと思った。

大須賀社会教育主事

市内の学校に1冊は配布することを予定している。是非読んでいただけると嬉しい。

神出委員

私が運営委員をしている大河公民館は似島の対岸にある公民館なので、青少年活動の一環で公民館でバームクーヘンをつくったり、子ども会の活動で似島に行ったり、関わりがある島である。

しかしながら、このコロナ禍ですっかり情報が途絶えてしまった。大河公民館は高齢者が増えてきており、自粛期間中には高齢者体操もなくなり、高齢者が骨折した話等もよく聞くようになった。リモート活動は高齢者には難しい。タブレットがあっても使い方が分からない。どうしたら高齢者と一緒にリモート活動ができるのか、是非教えてほしい。

大須賀社会教育主事

リモート活動は会場でサテライト的に行っており、まだ個人レベルでリモート活動を行う段階ではない。まずは、リモート活動の雰囲気等に慣れていただくとしている状況である。

似島の場合は、人口が少ない分学習機会に限られるので、リモート活動を通じて学習機会を増やしたいと考えている。また、公民館の通常の学習形態とは違うが、似島の特産物を YouTube や Zoom で配信することもできる。こうした活動は、似島にとってはチャンスと捉えている。

山川委員長

たくさんの学びのある発表だった。引き続きここから学ばせていただき、私たちもそれぞれの場で実践していきたい。分からないことがあれば、また教えていただき、今後も繋がっていききたいと思う。

(3) コロナ禍における公民館活動及び運営について

〈説明〉

資料2に沿って説明（手島生涯学習課長）

〈質疑等〉

新川委員

中学校という立場から、先ほど久井委員がお話されたことを懸念している。地域の行事や公民館の行事がすべて中止という中で、新しいものにどうやって参加していくか心配している。特に公民館まつりや公民館主催の行事には、学校からたくさんのボランティアを出して企画運営に携わっているが、行事が中止になるので、これまでの繋がりが途切れていく。伝統として先輩から受け継がれてきた、「こういうことがあるよ。だから公民館に行ってボランティアしたらいいよ。」という動きも途切れる。また、保護者の中には医療従事者もいらっしゃるので、学校として参加することができない。個人としての参加となると、経験したものを受け継ぐことができない。繋ぐ、という委員の意見に懸念を抱いている。

山川委員長

従来から関係のあった方、新しく関係を築く方、こうした方々をどう支援して繋いでいくか、お知恵があればお聞かせいただきたい。

大坪委員

地域と子どもの繋がりが薄くなっているという中で、私も入学式や卒業式に出席させていただいていたが、今年も中止とお聞きしとても残念に思う。こちらの顔を子どもたちに知ってもらえたら、次に会ったときに挨拶ができる。コロナ禍で接触が怖い面もあるが、学校側には、「こういう地域の人、ボランティアがいるよ。」と子どもに紹介するような会を設けてほしい。

上谷副委員長

コロナ禍で、可部公民館まつりやボランティアフェスタ（社会福祉協議会）を中止にした。私はギターサークルの代表をしているが、メンバーは70歳から80歳手前で、これまで公民館まつり、ボランティアフェスタ、高齢者施設の訪問活動をしていたが、これもすべて中止になった。そうすると、なんだか生きがいがなくなったような気持ちになった。今年に入り、各グループの代表者に今年の11月に公民館まつりを行う予定、と案内した。当然、コロナの感染状況により中止になるか

もしれないが、少し目標ができた。要するに、目標が1つでもないと、毎日何をしているのか、皆で練習をしても何もないな、という気持ちになる、これはどのグループも同じだろう。そういう意味で、今は少し明かりが見えてきた状況である。

先ほどの似島公民館の事業は、高齢者だけの事業ではなく、高齢者を交えて地域で一緒になって行う事業で、非常に良い取組をしていると思った。

山川委員長

廿日市市の小・中・高等学校でふるさと学習を進めている。学校内でチームを作って、ふるさとについてインターネットで調べたり、聴き取りをしたりしたものを学内発表して、その中で優秀賞が選ばれる。選ばれたチームは、学外で発表をしてそれを専門家が講評する、ということをやっている。コロナ禍の今年度はアイデアを練る、来年度に実践する、というタイムスパンで、子供たちに何ができるか考えさせたようだ。コロナだからできないではなくて、コロナでもできることがあるのを自分たちで考えようというスタンスが大事で、今までだったら1年間を実践までのサイクルにしていたが、今年はそれができないので2年ないしは3年間を実践までのサイクルと変えることで、見通しをたてたようである。

コロナ禍により全国各地で、公民館活動が止まってしまうと地域の繋がりが止まってしまうという懸念を持たれている。福岡県久留米市がいち早く、5月の連休明けから「オンライン公民館」という取組を民間の方が始めていて、毎週日曜日にオンライン公民館を行う中で、高齢者の参加をどのように容易にしていくかを考えた時に、先ほどの発表と同じで、ロケ形式で取り組んでいる。「オンライン公民館ロケ」と称して、その方たちのところまで行って、映像をとってライブ配信をされている。また、廿日市市の「津田市民センター」ではスマホの使い方を高校生が高齢者に教えたり、という事例もある。ぜひ、1年間のノウハウを皆さんと共有できる機会をどこかで設けて、知恵の交換・蓄積ができればと思う。現場では立ち止まっているところは少ないと思う。

(4) その他

ア 令和3年度生涯学習・社会教育関連予算案

〈説明〉

資料3に沿って説明（手島生涯学習課長）

イ その他

〈説明〉

参考資料3に沿って説明（手島生涯学習課長）

〈質疑等〉

山川委員長

資料3との関連で、検討のお願いである。今後先ほどおっしゃったように公共施設の再編においては、公民館もその対象施設になるだろう。その際には是非、利用者の目線を取り入れてほしい。例えば、公民館が合同庁舎や民間のビルの中に入ることもあると思うが、そうになると1階から入っていたところが、4階5階に配置されることもありうる。それは、利用者、特に子供や高齢者にとって少し近づきにくさができる。今の関係性が続くか、利用者の使い勝手がいいかということについては建築が終わった後では遅い。お願いだが、できれば基本設計もしくはその前の段階から、利用者がどういう形で使いたいのか、ワークショップを重ねる等して意見を取り入れる工夫をお願いしたいが、状況はいかがか。

手島生涯学習課長

公民館の今後ということだが、公共施設全体の在り方の中で、公民館の位置付けや、複合化した場合にどの施設と複合化するか、という点も議論していくことになるが、まだはっきりとした方向付けができていない。また、公共施設管理計画において、似たような使い方をする施設があるのであれば、総合的に使えるような形にしていくことも言及されているので、公民館の使い方そのものをどうするのか、という点も含めて考えていく必要がある。

公共施設全体の在り方については担当局もあるので、そちらと情報交換しながら早めに検討していきたいし、実際の建替え等に当たっては地域の皆さんで構成される運営委員会等でお話しながら適宜対応していきたい。

山川委員長

全国のいくつかの事例を見ると、改築等の過程でどれだけ住民が関わっているかということによって開設後の活発度が違うので、ご検討を是非お願いしたい。

岩元委員

来年度以降もオンライン化が続くと思うが、そのための施設整備費は各公民館の運営費の中で再配するのだろうか。

手島生涯学習課長

現在、公民館ではWi-Fiは繋がる。それ以外で、オンライン化のために必要な予算については、特に高額ではないので規定予算内で対応することになる。指定管理料自体も、大きい要因がない限りは上乗せすることは難しい。また、公民館の備品も古いものが多いので、更新はしたいが予算がつかない。生涯学習課としては予算がつくように、引き続き財政課に働きかけていきたい。

山川委員長

努力を続けていただけるということなので、引き続きよろしくお願いしたい。

福原委員

議事2の似島公民館の発表をお聞きし、似島小学校、学園の子どもたちは幸せだと思った。なぜかと言うと、地域の学習について公民館に行けば色々なことを学べるからだ。私の小学校の学区にも祇園公民館がある。祇園というところも地域の歴史、文化がたくさんある。今年度から総合的な学習が本格的に実施されたが、先生たちはあまり地域のことを知らない。地域の方と繋がるときにどこを頼りにしたらいいかという、きっかけは公民館にあるように思う。子どもたちを連れて郷土資料室を見学したり、歴史についての講座を受けるとか、学校と公民館との繋がりを増やしていくと、もっと新しい形での公民館活動と学校教育の繋がりができていくように感じた。是非、各公民館で地域の自然、歴史、文化を積極的に発信していただきたい。それを学校側がしっかりキャッチして、学習を進めていけたらと思う。

山川委員長

学校側からそう言っていただけると、公民館としても学校にアプローチしやすいと思う。是非、連携できる体制を作っていただきたい。

3 閉会

山川委員長

長時間になったが、熱心にご議論いただいた。これをもって本日の会議を閉会する。